

(作成年月日) 2024年1月29日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床心理学的研究を実施しております。この研究は、研究用に保管されたデータを用いています。また、この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、データをこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への同意を拒否された場合においても、不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

犯罪被害による同胞との死別を経験したきょうだいにおける親の社会活動の影響

[研究の目的] 本研究は、親が社会活動を行うことが、犯罪被害で同胞を失ったきょうだいの心の変化にいかに関与するのかを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

「犯罪被害による同胞との死別を経験したきょうだいにおけるレジリエンスの検討」の研究において、親が社会活動を行っているとした対象者の方3名を分析対象とします。

○利用する検体・情報

上記の研究において、以下の質問をして得られたデータを使用します。

被害後中・長期

- ・自身の心身の状態
- ・周囲のサポートとそれに伴う自身の変化
- ・周囲にされて嫌だった関わりや出来事とそれに伴う自身の変化

ご自身が社会活動を行っている遺族の場合

- ・社会活動を行うきっかけとなった出来事
- ・活動に携さわることによって感じた自身の変化

○利用又は提供を開始する日

倫理委員会承認日

[研究組織]

香川大学医学部臨床心理学科 特命助教 太田 美里

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川大学 医学部 臨床心理学科 臨床心理学講座

責任者 太田 美里

住所 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

電話 087-891-2252 E-mail ota.misato@kagawa-u.ac.jp